

Ⅲ 平成28年度 社会教育施策

1 「平成28年度社会教育行政の方針と重点」における施策・事業一覧

| 重 点 | 事業番号 | 平成28年度事業一覧 | 所管 | 掲載ページ |
|------------------------------|------------------------------|----------------------------------|-------|-------|
| (1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成 | 1 | 地域産業と学校の連携による地域人財育成事業【新規】 | 《企画》 | P. 8 |
| | 2 | 子どもの読書活動推進事業 | 《企画》 | P. 8 |
| | 3 | いじめ根絶キャンペーン推進事業 | 《企画》 | P. 9 |
| ア 青少年の体験活動の充実 | 4 | 障害者青年学級開設 | 《企画》 | P. 9 |
| イ 地域が支えるキャリア教育の充実 | 5 | 障害者家庭教育学級開設 | 《企画》 | P. 10 |
| | 6 | 地域で学校を支える仕組みづくり推進事業【新規】 | 《地域》 | P. 10 |
| ウ 子どもの読書活動の充実 | 7 | 農村漁村でとことん「学び・交流・体験」事業【新規】 | 《地域》 | P. 10 |
| エ 地域全体で子どもを育む活動の充実 | 8 | あおもりの未来を変える0歳からの家庭教育応援事業【新規】 | 《地域》 | P. 11 |
| | 9 | 放課後子ども教室推進事業 | 《地域》 | P. 11 |
| オ 家庭教育支援の充実 | 10 | 地域の豊かな社会資源を活用した土曜学習推進事業 | 《企画》 | P. 12 |
| | 11 | 家庭教育支援推進事業 | 《地域》 | P. 12 |
| | 12 | 若者の社会参加促進事業 | 《地域》 | P. 13 |
| | 13 | 高大連携キャリアサポート推進事業 | 《社セ》 | P. 13 |
| | 14 | 高校生スキルアッププログラム推進事業 | 《社セ》 | P. 13 |
| | 15 | 未来の青森県を担う若人育成講座 | 《社セ》 | P. 13 |
| | 16 | 青少年異年齢交流モデル事業（寺子屋ありす）【新規】 | 《社セ》 | P. 14 |
| | 17 | 「カダイ」は「マナビ」のチャンス！YOU遊トライアル事業【新規】 | 《社セ》 | P. 14 |
| | 18 | 青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業【新規】 | 《社セ》 | P. 14 |
| | 19 | 学校と地域の協働実践セミナー | 《社セ》 | P. 15 |
| | 20 | 教員力アップ！学校・家庭・地域連携講座 | 《社セ》 | P. 15 |
| | 21 | 絆でつながる家庭教育支援セミナー | 《社セ》 | P. 15 |
| | 22 | 家庭教育支援交流モデル事業（ほのぼのサロン） | 《社セ》 | P. 16 |
| | 23 | 家庭教育支援コンテンツ制作事業 | 《社セ》 | P. 16 |
| | 24 | 家庭教育相談事業 | 《社セ》 | P. 16 |
| | 25 | 子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業 | 《図書》 | P. 17 |
| | 26 | 高校生の読書活動推進のための図書セット貸出事業 | 《図書》 | P. 17 |
| 27 | 梵珠少年自然の家主催事業（親子のつどい、子どものつどい） | 《梵珠》 | P. 17 | |
| 28 | 自然体験活動支援事業 | 《梵珠》 | P. 18 | |
| 29 | 在学少年宿泊指導者研修 | 《梵珠》 | P. 18 | |
| 30 | ファミリー防災キャンプ事業 | 《梵珠》 | P. 18 | |
| 31 | 種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、こどもの祭典） | 《種差・指定》 | P. 18 | |
| 32 | 自然体験活動支援事業 | 《種差・指定》 | P. 19 | |
| 33 | 在学少年宿泊指導者研修 | 《種差・指定》 | P. 20 | |
| 34 | 親子で学ぶ防災キャンプ事業 | 《種差・指定》 | P. 20 | |

| | | | | |
|---|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-------|
| (2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成 ア 地域活動の実践者の育成 イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成 ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援 | 35 | 市町村の社会教育活性化支援事業 | 《地域》 | P. 21 |
| | 36 | パワフルAOMORI!創造塾 | 《社セ》 | P. 21 |
| | 37 | 公民館パワーアップ講座 | 《社セ》 | P. 22 |
| | 38 | 生涯学習・社会教育関係職員研修講座 | 《社セ》 | P. 22 |
| (3) 一人一人の主體的な学習と社会参加の推進 ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援 イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援 | 39 | アクティブシニアによる地域の未来応援事業 | 《企画》 | P. 23 |
| | 40 | 県立学校開放事業 | 《企画》 | P. 23 |
| | 41 | 元気青森人を創造するeラーニング推進事業 | 《社セ》 | P. 24 |
| | 42 | 学習情報の収集・提供事業 | 《社セ》 | P. 24 |
| | 43 | 青森県視聴覚ライブラリー運営事業 | 《社セ》 | P. 24 |
| | 44 | あおもり県民カレッジ運営業務 | 《社セ・指定》 | P. 24 |
| | 45 | インフォメーションプラザありすの運営（指定管理者） | 《社セ・指定》 | P. 25 |
| | 46 | チャレンジ先生の手作り講座（指定管理者の自主事業） | 《社セ・指定》 | P. 25 |
| | 47 | ボランティア活動支援機関連絡会議 | 《社セ・指定》 | P. 25 |
| | 48 | 近代文学館特別展開催 | 《図書》 | P. 26 |
| | 49 | 近代文学館企画展開催 | 《図書》 | P. 26 |
| | 50 | アウトリーチサービス推進事業 | 《図書》 | P. 26 |
| | (4) 社会教育推進のための基盤整備 ア 社会教育推進体制の充実 イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進 ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上 エ 社会教育関係団体等の活動の支援 | 51 | 生涯学習推進基盤整備事業（生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会） | 《企画》 |
| 52 | | 生涯学習・社会教育総合調査研究事業 | 《企画》 | P. 27 |
| 53 | | 青森県社会教育委員の運営 | 《企画》 | P. 27 |
| 54 | | 市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成 | 《企画》 | P. 28 |
| 55 | | 社会教育主事有資格者育成派遣事業 | 《企画》 | P. 28 |
| 56 | | 社会教育主事派遣事業 | 《企画》 | P. 28 |
| 57 | | 生涯学習専門講座派遣事業 | 《企画》 | P. 28 |
| 58 | | 市町村の社会教育活性化支援事業（再掲） | 《地域》 | P. 29 |
| 59 | | 社会教育主事等一般研修 | 《地域》 | P. 29 |
| 60 | | 在学青少年育成費補助事業 | 《地域》 | P. 29 |
| 61 | | 青森県連合青年団活動費補助事業 | 《地域》 | P. 29 |
| 62 | | ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナー | 《社セ》 | P. 29 |
| 63 | | 生涯学習・社会教育関係職員研修講座（再掲） | 《社セ》 | P. 30 |
| 64 | | 公民館パワーアップ講座（再掲） | 《社セ》 | P. 30 |
| 65 | | 県立図書館資料整備 | 《図書》 | P. 30 |
| 66 | | 市町村立図書館等職員研修事業 | 《図書》 | P. 30 |

【所管凡例】

《企画》生涯学習課企画振興グループ 《地域》生涯学習課地域連携推進グループ 《社セ》県総合社会教育センター
《図書》県立図書館 《梵珠》県立梵珠少年自然の家
《社セ・指定》県総合社会教育センター指定管理者事業 《種差・指定》県立種差少年自然の家指定管理者事業

2 平成 28 年度事業の概要

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 青少年の体験活動の充実
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 地域全体で子どもを育む活動の充実
- オ 家庭教育支援の充実

生涯学習課

地域産業と学校の連携による地域人財育成事業 4,146 千円

〔事業目的及び概要〕

若年層の県内定着・回帰のため、教員、児童生徒及び保護者の地域産業に対する理解を深めることにより、郷土に愛着と誇りを持ち、積極的に地域に関わろうとする人財を育てる事業である。

〔事業内容〕

(1) 地域産業と学校の連携・協働による地域人財の育成（地区実行委員会委託事業）

ア 各地区連携会議の開催（6 地区各 1 回）

県内 6 地区において、地域産業と学校の相互理解を深め、キャリア教育の在り方や連携・協働の進め方について情報交換を行うため、高等学校教職員、企業、PTA、商工団体等による会議を開催する。

※各地区就職促進懇談会と連携して実施

イ 各地区教育支援見本市の開催（6 地区各 1 回）

学校におけるキャリア教育の充実のため、企業・NPO等が実施している教育支援活動（出前授業・インターンシップ・体験活動等）の具体的な取組を紹介し、教職員や学校支援ボランティアと企業・NPO等の交流を図る。

※総合社会教育センター講座「学校と地域の協働実践セミナー」と連携して実施

ウ 子ども職場参観日の実施支援

児童生徒の地域産業に対する理解を深めるため企業・NPO等が行う「子ども職場参観日」の実施マニュアルを作成し、実施を支援する。

(2) 地域産業と学校の連携・協働に向けた啓発

ア 未来のふるさとを創り出す教育フォーラムの開催

学校と地域産業の連携・協働による人財育成に係る気運の醸成をねらいとするフォーラムを開催する。

○実施日：11/11（金）

○場 所：青森県総合社会教育センター

○内 容：講演、パネルディスカッション、ポスターセッション、キャリア教育応援企業表彰

イ 教育支援プラットフォーム関係者のコーディネート能力を高める研修講座の開催（委託事業）

学校と地域産業の連携・協働を促進する役割を担う教育支援活動推進員や学校支援ボランティア等を対象として、キャリア教育に関する知識を深めコーディネート能力を高めることをねらいとした研修講座を開催する。

子どもの読書活動推進事業 2,410 千円

〔事業目的及び概要〕

「青森県子ども読書活動推進計画（第三次）」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育てるため、家庭・地域・学校が連携して、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及啓発を進める取組を展開する事業である。

〔事業内容〕

(1) 乳幼児期からの読み聞かせ活動の推進

ア 地域における読み聞かせボランティア活動の促進

読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さについて、保護者、教員の理解を深めることを目的に、教職員や保護者、放課後子ども教室・児童クラブ関係者、学校のボランティア関係者等を対象とする研修会を開催する小学校に、講師として「親子ふれあい読書アドバイザー」を派遣するとともに、学校における読み聞かせ活動とボランティアの活用促進を図る。

イ 「親子ふれあい読書アドバイザー」の新規養成及び読み聞かせ実践者のスキルアップ

「親子ふれあい読書アドバイザー」の新規養成と読み聞かせ実践者のスキルアップを図るための研修会を開催する。（青森県読書団体連絡協議会への委託により、県内6地区で開催する。）

ウ 啓発小冊子「絵本でゆたかな親子の時間」の活用促進

乳幼児期からの家庭での読み聞かせの大切さを伝えるため、研修会やブックスタート等での啓発小冊子の活用を促進する。

(2) 読書離れへの対応

ア 研修会等の開催

高校生の読書活動の推進のため、青森県高等学校教育研究会図書館部会等と連携し、各学校の図書委員や学校図書館担当教職員を対象とした研修会等を行う。

イ 中学生・高校生による本の推奨活動

あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

県内の中学生・高校生に仲間や友だちなどに薦めたい一冊の本の紹介文を募集し、秀逸な紹介文を選び表彰及びホームページ等で紹介する。

(3) 子どもの読書活動推進に係る普及・啓発

ア 子どもの読書活動推進大会の開催

子どもの読書習慣の形成と豊かな心の育成を図る機運を高めるため、一般県民及び子どもの読書活動推進の関係者が情報の共有を図る大会を県内2箇所で開催する。

○7/29（金）平川市生涯学習センター 11/2（水）十和田東公民館

イ 第三次計画普及のためのリーフレットの作成

青森県子ども読書活動推進計画（第三次）の内容を広く県民に周知するため、リーフレットを作成する。

いじめ根絶キャンペーン推進事業 2,808 千円

【事業目的及び概要】

学校・家庭・地域において、子どもの人権に関わる理解と認識を深めるため、いじめ根絶に向けた取組を一層強化するとともに、県民に対する意識啓発のキャンペーンを幅広く展開する事業である。

【事業内容】

(1) いじめ根絶標語コンクール

小学生、中学生、高校生、一般県民からいじめ根絶を訴える標語を募集し、優秀作品6本を選定、表彰する。

(2) 優秀作品によるいじめ根絶テレビ放映キャンペーン

CM枠を活用し、標語優秀作品原作者が友達や保護者、地域の方々とテレビを通じて県民にいじめ根絶を語りかける。

障害者青年学級開設 965 千円

【事業目的及び概要】

自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団学習や趣味の講座、障害者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

【事業内容】

○開設学級：視覚障害青年学級、病虚弱青年学級、肢体不自由青年学級、知的障害青年学級

○開設場所：県内特別支援学校(15校)

○開設時間：各3日間 8時間程度

○対象：障害のある青年等

- 学習内容：(1)社会参加学習
 (一般教養の向上、職業生活、日常生活を豊かにすること、障害者の福祉)
 (2)スポーツ体験交流

障害者家庭教育学級開設 676 千円

〔事業目的及び概要〕

障害のある児童生徒の父母等保護者の家庭教育支援を目的として、特別支援学校に家庭教育を開設する事業である。

〔事業内容〕

- 開設場所：県内特別支援学校(19校)
- 開設時間：4日間10時間程度
- 対象：障害のある子どもを持つ保護者等
- 学習内容：児童生徒の心理や行動、障害者の就労、福祉、体育及びレクリエーション

地域で学校を支える仕組みづくり推進事業 6,218 千円

〔事業目的及び概要〕

学校に求められる役割が増大する中で、地域で学校を支える仕組みづくりを推進するため、新たな学校支援活動を展開する市町村への支援を行うほか、学校支援関係者の資質向上と実践事例の普及啓発を図る研修会（フォーラム）を開催する。

〔事業内容〕

- (1) 地域で学校を支える仕組みづくり推進委員会
 行政関係者、学校関係者、社会教育関係者、福祉関係者、学識経験者、事業関係者等で構成し、地域で学校を支援する仕組みづくりを推進するための諸課題や方策等について協議するとともに、フォーラムの内容検討、事業実施後の検証・評価等を行う。年2回開催。
- (2) フォーラムの開催
 事業関係者の資質向上と、市町村の実践事例等の普及啓発を図るためにフォーラムを開催する。
 ア 開催時期 11/22（火）13:30～16:00
 イ 会場 県総合社会教育センター 大研修室
 ウ 対象 学校支援センター関係者、市町村教育委員会関係者、教職員 など
 エ 内容 ・講演
 ・県内市町村の取組事例発表 など
- (3) 地域で学校を支える仕組みづくり推進事業費補助
 地域で学校を支える仕組みづくり推進事業を実施する市町村（中核市の青森市を除く）に補助金を交付する。なお、新たな取組を促進する仕組みづくりを推進するため、次の4つの類型等に基づく取組に対して優先的に予算措置をする。
 - ①土曜日の教育活動を豊かにするための仕組み【地域の自然環境を活用した体験活動等の支援、土曜授業の支援等】
 - ②コミュニティ・スクールの機能をもった仕組み
 - ③地域住民の協力による中学生等を対象とした学習支援の仕組み【放課後等（土曜日、日曜日、祝日、長期休業を含む）の学習支援】
 - ④ボランティアによる学校図書館の充実に向けた仕組み【図書ボランティアによる図書整理、破損本修理等の活動支援】 など
 予定6市町村（学校支援センター数 28箇所）
 今別町 五所川原市 板柳町 平川市 三沢市 五戸町

農山漁村でとことん「学び・交流・体験」事業 3,806 千円

〔事業目的及び概要〕

農山漁村における地域コミュニティの活性化や郷土に対する子どもたちの理解を深めるため、土曜日等（日曜日、祝日、長期休業日を含む。）の学習活動への学生サポーター派遣を行うほか、県内の子どもたちが農山漁村に宿泊し、豊かな地域資源を活用した交流体験活動等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 農山漁村における学生サポーターによる土曜学習活性化事業
農山漁村に大学生サポーターを土曜日等に派遣し学習活動を行うことによって、地域コミュニティの活性化を図る。
- ア 取組概要
- 学生サポーター派遣箇所数・派遣回数：12 か所程度、9月から月1回程度の派遣。
 - 学生サポーター事前研修会
- イ 対象市町村
- 放課後子ども教室等において、学習支援や体験学習等を実施するために、土曜日等に学生サポーターの派遣を希望する市町村。
- (2) 農山漁村体験留学支援事業
県内の小・中学生が、夏季休業中に農山漁村に宿泊し、豊かな地域資源を活用した体験交流活動を行うことで、郷土あおもりに関する理解を深める。
- ア 対象：中南、三八、上北地区の小学校及び中学生 各地区10～30名程度
- イ 受入れ市町村：下北、東青、西北の受入れを希望する市町村
- ウ 活動概要
- 体験留学（2泊3日または1泊2日） ・中南→下北 ・三八→東青 ・上北→西北
 - 宿泊場所：キャンプ場、公民館、自然の家 等

あおもりの未来を変える0歳からの家庭教育応援事業 6,704千円

〔事業目的及び概要〕

乳幼児期からの家庭教育を推進するため、市町村の子育て支援策への反映等に向けて家庭教育支援方を調査・研究するとともに、機運醸成のためのフォーラムや祖父母向け研修会等を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 青森県における「乳幼児期からの家庭教育支援」普及定着事業
- ア 家庭教育支援に係る調査・研究及び市町村支援
- イ 家庭教育支援テレビ番組放映
- (2) 0歳からの家庭教育応援フォーラムの開催
- 開催期日：11/8（火）
 - 開催場所：青森市民ホール
- ア ヤングパパ・ママと未来のパパ・ママ交流会
- イ 講演会
- ウ パネルディスカッション
- エ パネル展示
- (3) イクジイ、イクバアのためのイマドキの子ども研修会の開催
- 内容：子どもの発達段階に応じた家庭教育の重要性や生活習慣等についての研修
 - 開催地：東青地区、中南地区、下北地区

放課後子ども教室推進事業 62,359千円

〔事業目的及び概要〕

子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的として、放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設け、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民と交流活動等の取組を実施する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 放課後子ども総合プラン推進委員会
行政関係者、学校関係者、社会教育関係者、福祉関係者、学識経験者、事業関係者等で構成し、全児童の放課後対策の諸課題について協議するとともに、放課後対策事業の実施方針、安全管理方策、広報活動方策の策定、指導者研修の内容検討や事業実施後の検証・評価等を行う。年2回開催。
- (2) 指導者研修
放課後子ども教室関係者と児童クラブ関係者等を対象とした指導員研修を実施する。
- ア 放課後子ども総合プランコーディネーター等研修

- (ア) 主管：県総合社会教育センター
 (イ) 回数：2回
- イ 放課後子ども総合プラン指導員等研修
 (ア) 主管：各教育事務所
 (イ) 回数：前後期2回(延べ12回)
- (3) 放課後子ども教室推進事業費補助
 放課後子ども教室推進事業を実施する市町村（中核市の青森市を除く）に補助金を交付する。
 予定 24市町村（子ども教室数 89教室）
 平内町 外ヶ浜町 今別町 深浦町 中泊町 鶴田町 弘前市 平川市 藤崎町
 大鰐町 十和田市 七戸町 おいらせ町 六戸町 横浜町 東北町 むつ市
 大間町 風間浦村 佐井村 八戸市 三戸町 五戸町 階上町

地域の豊かな社会資源を活用した土曜学習推進事業 709千円

〔事業目的及び概要〕

学校・家庭・地域が連携し、子どもたちにとってより有意義な土曜日の実現をめざすため、地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力により、土曜日に体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する取組を支援し、教育新体制等の構築を図る事業である。

〔事業内容〕

- (1) 地域の豊かな社会資源を活用した土曜学習推進事業費補助
 土曜学習推進事業を実施する市町村（中核市の青森市を除く）に補助金を交付する。
 予定 4市町村（土曜学習実施箇所数 12箇所）
 今別町 中泊町 弘前市 おいらせ町

家庭教育支援推進事業 1,217千円

〔事業目的及び概要〕

家庭教育はすべての教育の原点であり、家庭を取り巻く環境が変化している中、社会全体で家庭教育を支援することを目的として、今日的な課題に対応する学習プログラムの作成や当該プログラムの進行役（あおもり家庭教育アドバイザー）の養成・派遣等を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) あおもり家庭教育アドバイザーの養成・派遣
 「あおもり親楽プログラム」を活用した学習を進行する家庭教育アドバイザーを養成し、団体等の要望に応じてPTA研修会や保護者会へ派遣する。
 ア あおもり家庭教育アドバイザー養成講座
 2回×1地区（上北・三八地区）30名程度
 ○対象：家庭教育支援活動に関わっている方、家庭教育支援活動に興味関心がある方等
 イ 家庭教育アドバイザーの派遣
 35回程度
- (2) 研修会の開催
 あおもり家庭教育アドバイザーの資質の向上と家庭教育支援に関わる人々のネットワークを広げるため、研修会を開催する。
 ア あおもり家庭教育アドバイザースキルアップ研修
 下北、東青、西北地区 各1回
 ○対象：あおもり家庭教育アドバイザー登録者、あおもり家庭教育アドバイザー養成講座受講者等
 イ 家庭教育支援普及定着研修会
 年1回 県総合社会教育センター
 ○対象：市町村教育委員会担当者、家庭教育支援関係者、学校関係者、児童福祉関係者等
- (3) 学習テキストの作成
 家庭教育に関する今日的課題に対応した参加型学習プログラム「あおもり親楽プログラム」の改訂版を作成する。
 ア 家庭教育学習テキスト作成部会の設置

若者の社会参加促進事業 774 千円**【事業目的及び概要】**

若者の社会参加を促進することを目的に、社会とのつながりへのきっかけを求めている若者の自立支援に向けたキャンプを実施するとともに、社会教育施設を拠点に若者と地域、若者同士の出会いやつながりを形成する事業である。

【事業内容】

(1) チャレンジキャンプ

「平成 27 年度高校教員に対する中途退学者等の状況に関する調査結果」等を踏まえ、社会とのつながりへのきっかけを求めている若者（16 歳～概ね 35 歳）を対象に、少年自然の家等を活用して、自立支援に向けたキャンプを実施する。

○期日：8/28(日)～31(水) 3泊4日

○場所：青森県立梵珠少年自然の家、その他

(2) 若者の拠点づくり支援

公民館等の社会教育施設を会場に、若者(概ね 20～30 歳代)を対象に、若者と地域、または若者同士の出会いやつながりを形成することを目的とした市町村事業の企画を支援するため、実施に係る謝金と旅費を負担する。※最大 12 市町村で年 1 回開催予定（他市町村との連携事業も可。）

総合社会教育センター**高大連携キャリアサポート推進事業 898 千円****【事業目的及び概要】**

高校生の「やる気」や意欲を引き出し、自らの夢に向かって主体的に行動できる人財を育成するため、大学生によるワークショップを実施するとともに、コミュニケーション、ファシリテーション等の研修を行い、大学生のスキルアップを図る事業である。

【事業内容】

(1) ワークショップ「キャリアサポ」の実施

高校生の意欲を引き出し、自分自身の見つめ直しにつながる、大学生によるワークショップを開催する。

○時期：6月～3月

○場所：県内高等学校 23 校

(2) キャリア形成の支援

ア 高大連携キャリアサポート推進事業に係る会議の開催
(大学関係者会議、大学生会議、実施校担当者連絡会議)

イ 関係者研修会(キャリア形成支援教育研修会)の開催

ウ 大学生対象研修会等の実施

高校生スキルアッププログラム推進事業 272 千円**【事業目的及び概要】**

高校生の知識や経験の幅を広げるとともに、社会の変化に柔軟に対応し逞しく生きるための様々なスキルの向上を図ることを目的として、学校外における学習への積極的な取組を推進する事業である。

【事業内容】

(1) 高校生スキルアッププログラムの運営

(2) 担当教員研修の実施

(3) 評価サービス

未来の青森県を担う若人育成講座 1,645 千円**【事業目的及び概要】**

青少年が自己肯定感を高め、主体的に行動できるようにするため、異年齢集団における活動をおして、他者と協力し、相互に学び合う講座と演習を実施する。

【事業内容】

(1) 講座内容

第 1 講座「コミュニケーション能力を高める講座」

第2講座「自分や仲間の良さを知る講座」

第3講座「地域で実践活動を体験し、仲間と実践する企画を考える講座」

第4講座「地域実践活動を企画する講座」

第5講座「地域実践活動を準備する講座」

第6講座「地域実践活動を実行する講座」

第7講座「これまでの実践活動等を振り返り、どのように活かすかを考える講座」

(2) 実施時期：7～3月

(3) 実施場所：青森市、黒石市

(4) 定員：30名

青少年異年齢交流モデル事業（寺子屋ありす）

〔事業目的及び概要〕

青少年の豊かな人間性や社会性を育むため、異年齢集団における交流活動をとおして、主体的に関わり、相互に学び合い、成長できる仕組みづくりを行うモデル事業である。

〔事業内容〕

(1) 対象：青少年(小学生 中学生 高校生 大学生)

(2) 実施時期：通年

(3) 実施場所：県総合社会教育センター インフォメーションプラザありす内（寺子屋）

「カダイ」は「マナビ」のチャンス！YOU遊トライアル事業

〔事業目的及び概要〕

社会の急激な変化に対応するため、ふるさとあおもりが抱えている「ヒト・モノ・コト」に係る現代的課題について県民が自ら講座を探し、学ぶことにより、知的発見の面白さに繋げ、一人一人の主体的な学習意欲の向上を図るとともに、学習を地域で活かし、地域の様々な活動作りに取組みながら、県民全体の社会参加活動の推進を図る。

〔事業内容〕

(1) 内容

【平成28年度テーマ】ヘルシー！短命県返上・健康

(2) 学習形態

県民カレッジ認定講座（連携機関講座等）、県教育委員会からの推奨講座及びテーマに係る講座を自ら探し、講座、体験、視聴(YouTube等を含む)の形態により行う。

(3) 学習期間 1年間(4月～翌年3月)とする。

(4) 参加料及び参加条件

- ・参加料は無料
- ・あおもり県民カレッジ学生、または今後登録する者。

(5) 修了認定

- ・1講座又は概ね1時間の受講を1ポイントとし、合計で50ポイントを修得すること。
- ・A4版1枚程度の分野まとめレポートを提出すること。
- ・認定者には、修了証を授与する。

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業

〔事業目的及び概要〕

県総合社会教育センターは、高校生・大学生等の社会参加活動・創作活動を行っている団体と連携して、青少年の社会参加活動・創作活動の推進に取り組むための方策を研究する。

〔事業内容〕

(1) 団体募集(高校生の団体及び大学生の団体等)

(2) 団体の指定

(3) 団体支援

- ①生涯学習フェア等の発表の場の提供
- ②情報発信専用掲示スペースの用意
- ③ミーティング等を行うスペースの用意

- ④センター広報誌、HP等で活動状況を紹介
- ⑤社会教育主事等による情報提供とアドバイス
- ⑥名義使用の許可
- ⑦研修室等使用料の減免

学校と地域の協働実践セミナー 803 千円

〔事業目的及び概要〕

学校と地域が連携・協働して未来を担う子どもたちを育むために、地域の中で学校支援を行っている人々の意識啓発やスキルの向上を目的とした研修を行う事業である。

〔事業内容〕

- (1) 公開講演(全国の先進的な取組についての講演、情報交換など)
 - 開催日：7/20(水)
 - 会場：県総合社会教育センター
 - テーマ：地域の力で子ども達を育てよう ～We are シンセキ～
 - 講師：大阪大学非常勤講師 ラジオDJ 山本 シュウ
- (2) 地区研修会（講義、演習など）県内6地区開催

| 開催地区 | 開催予定日 | 会場 | テーマ |
|------|----------|---------------|-----------------------------------|
| 三八 | 6/24(金) | 八戸市福祉公民館 | 地域の力を学校へ ～地域学校協働による 活動のすすめ～ |
| 下北 | 7/ 7(木) | 下北文化会館 | |
| 上北 | 9/ 7(水) | 七戸中央公民館 | |
| 中南 | 9/28(水) | 弘前市総合学習センター | |
| 西北 | 10/27(木) | 五所川原市学習情報センター | |
| 東青 | 11/ 1(火) | 県総合社会教育センター | |

教員力アップ！学校・家庭・地域連携講座

〔事業目的及び概要〕

学校・家庭・地域が連携することの重要性や実際に連携する際のポイントとなる点及び課題等を学ぶとともに、教員間の情報共有とネットワーク形成に資する事業である。

〔事業内容〕

- 開催日：7/25(月)・7/26(火)
 - 会場：県総合社会教育センター
 - 対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校教員
 - 内容
- 1日目 7/25(月)
 - 午前：社会教育と学校教育の関わり
 - 午後：我が校での家庭・地域との連携事例
 - 2日目 7/26(火)
 - 午前：公共施設と学校との連携事業事例
 - 午後：地域の教育力活用の実際

絆でつながる家庭教育支援セミナー 886 千円

〔事業目的及び概要〕

家庭教育支援に関わる人々の輪を広げるため、地域の絆の中での家庭教育支援につながる講座の企画・運営等の実践を通して、地域に密着した家庭教育支援者を育成する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 様々な角度から学ぶ、より実践的で継続性のあるセミナーの実施。
 - 実施場所：県内2箇所(1市町村、県総合社会教育センター)
 - 実施回数：各10回
 - 定員・対象：各10名・家庭教育支援を目指す人、PTA関係者等
 - 内容

- ・家庭教育支援講座 6 回(支援の実際について様々な角度から学ぶ)

講座内容：支援の手法、カウンセリングの手法、子育てコーチングの手法、支援の実際、講座の組み立て・実施の仕方等

○演習 4 回(子育てサロンを活用)

(2) 共通スキルアップ講座

家庭教育支援の先進的で実践的な内容についての講座及び演習を実施。

○開催日：11 月～12 月

○会 場：県総合社会教育センター

○テーマ：親の悩みを汲み取る日常的な支援の実際

家庭教育支援交流モデル事業(ほのぼのサロン)

[事業目的及び概要]

家庭に関する情報交換や悩み相談等とおして相互に学び合うことを目的に、日常的な親同士のつながりや子育ての先輩たちとの交流ができる仕組みづくりを行う事業である。

[事業内容]

○実施場所：県総合社会教育センターほのぼのルーム

○実施回数：月 1 回程度

○定員・対象：10 名・家庭教育支援に意欲的な人

○内容：家庭教育支援者による「おやこの広場(ほのぼのサロン)」の実施

活動内容：つながりおしゃべりタイム、子育てコーチングについて、発達障害について等

家庭教育支援コンテンツ制作事業 3,483 千円

[事業目的及び概要]

家庭教育の重要性を訴えるとともに、子育てに関わる人々の抱える不安や悩みを軽減することを目的とした学習教材(動画)を制作し、学習教材の活用方法や学習機会と情報の提供を行う事業である。

[事業内容]

(1) 企画委員会の設置

企画委員会を設置し、制作内容の検討・評価等を行う

(2) 学習教材(動画)の制作

一般家庭向け(5 分×10 本、民間委託制作)

(3) ホームページでの動画配信や DVD 等による各種研修会等での活用

(4) ポスター、チラシの制作

ア CM と連動した形で「わかりやすさ」を全面に出したものを制作する

イ 配布先やサイズの変更など、確実に保護者へ届ける方法を考慮する

(5) 市町村や PTA 等から要望があれば、講師としてコンテンツを活用した講座を行う

(6) コンテンツを活用した講座の活用方法について、展開例を作成する

(7) コンテンツに関する CM を作り、動画サイト等に投稿する

(8) コンテンツが視聴できるスマートフォン向けサイトの制作、管理を行う

家庭教育相談事業 406 千円

[事業目的及び概要]

子育て中の不安や悩みを軽減することを目的として、就学前児童から高校生の保護者や家族を対象に、電話・メール等による寄り添い型の家庭教育相談を行う。

[事業内容]

○対 象 就学前児童から高校生までの子育て・孫育て中の親と家族

○実施方法 電話相談・週 2 回 水・木曜日(祝日・年末年始を除く)13:00～16:00

メール相談・24 時間受付

○場 所 県総合社会教育センター電話相談室

○対応内容 発育・発達、しつけ、対人関係などの子どもに対する悩みや家庭教育全般について

○相談体制 県総合社会教育センター家庭教育担当職員及び家庭教育支援員が対応

県立図書館

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

子どもの読書活動の環境づくりを進めることを目的として、市町村立図書館等に対して幼児、児童・生徒用図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

小・中学校の読書活動や幼稚園・保育所の読み聞かせ活動を支援するため、朝の読書用、父母が幼児に読み聞かせする絵本・児童書、読み聞かせ活動用の大型絵本、環境・福祉・食育等のテーマに沿った図書、ブックトーク実演のための図書の各セットを、希望する市町村立図書館等に貸出しし、学校等に配本する。(4/1(金)～3/31(金))

高校生の読書活動推進のための図書セット貸出事業

〔事業目的及び概要〕

高校生（特別支援学校高等部を含む。）の読書活動推進を目的として、高等学校図書館等に対してキャリア教育の充実、教育活動を支援する図書セットを貸出する事業である。

〔事業内容〕

高等学校の読書活動を支援するため、進路や生き方、職業選択に関する図書のほか、美術、音楽、スポーツなど高校生世代の興味の対象になりそうな図書セットを、希望する高等学校等に貸出・配本する。(4/1(金)～3/31(金))

梵珠少年自然の家

梵珠少年自然の家主催事業（親子のつどい、子どものつどい） 940千円

〔事業目的及び概要〕

参加者相互のふれあいを深めながら、自然について学ぶとともに、自然に親しむ態度や豊かな心を育てることを目的として、自然の中で多様な体験活動を行う事業である。

〔事業内容〕

(1) 親子のつどい

| 活動名 | 期日 | 対象 | 募集人員 | 内容 |
|---------------|----------------|------------------|------|--------------------------------|
| ①春・いーっぱい | 5/8(日) | 小・中学校の児童生徒とその保護者 | 40名 | 自然観察、野草の採集と調理 |
| ②虫の世界をのぞいてみよう | 7/30(土)～31(日) | | 50名 | 昆虫の採集と観察 |
| ③秋・みーつけた | 10/2(日) | | 40名 | ネイチャーゲーム、野外炊事 |
| ④わくわく自然体験デー | 10/30(日) | | 200名 | 野外活動、創作活動、野外料理、遊びのコーナー |
| ⑤門松をつくろう | 12/17(土)～18(日) | | 200名 | 本格門松づくり |
| ⑥冬にとびだそう | 2/4(土)～5(日) | | 50名 | 雪灯籠づくり、キャンドルナイト、雪上運動会、チューブそり遊び |

(2) 子どものつどい

| 活動名 | 期日 | 対象 | 募集人員 | 内容 |
|-----------------------|----------------|------------------------|------|---|
| ①アウトドアライフ2016in サマー | 8/8(月)～11(木) | 小学校 5年生から 中学校 3年生まで | 36名 | 野外ゲーム、ロープワーク、野外炊事、テント泊、登山、カヌー、キャンプファイヤー |
| ②アウトドアライフ2017in ウィンター | ①1/14(土)～15(日) | の児童生徒 | 36名 | 雪灯りキャンプファイヤー、スノーハウス、スノーチューブ体験、思い出クラフト |

| | | | | |
|--|--------------------|--|-----|---|
| | ②2/18(土) ～19(日) | | 36名 | 雪上トレッキング、キャンドルサービス、スノーチューブ体験、野外炊事、思い出クラフト |
|--|--------------------|--|-----|---|

自然体験活動支援事業 248 千円

〔事業目的及び概要〕

自然体験活動の促進を図ることを目的として、身近な自然環境を活用して子どもたちが効果的に体験活動ができるよう、少年自然の家の職員が指導、助言などの支援を行う。また、青少年の自然体験活動を効果的に行うため、野外活動プログラムや創作活動プログラムの実技体験等に関する研修会を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) レッツエンジョイ！自然大好きっず
 - 期間：4～5月、10月～3月
 - 対象：小学校、中学校、特別支援学校、PTA、青少年団体等
 - 内容：自然体験活動の実施について、指導者への指導・助言、児童生徒への直接指導
- (2) 自然体験活動研修会
 - 期日：5/24(火)、1/30(月)
 - 対象：青少年教育、自然体験活動に興味のある方
 - 内容：野外活動プログラム、創作活動プログラムの体験

在学少年宿泊指導者研修

〔事業目的及び概要〕

少年自然の家での宿泊学習や自然教室等を利用団体が効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容や、施設・設備の利用の仕方等について学ぶとともに、利用する際の日課表を作成する事業である。

〔事業内容〕

- 期日：4/21(木)～22(金)
- 対象：平成28年度利用予定団体及び今後利用を考えている団体の引率者
- 内容：講義、実技体験、宿泊体験、演習・実践

ファミリー防災キャンプ事業 207 千円

〔事業目的及び概要〕

災害に備える態度及び実践的な対応能力を育成することを目的として、さまざまな災害の状況を想定した活動を親子で体験する事業である。

〔事業内容〕

- 期日：11/12(土)～13(日)
- 対象：小・中学校の児童生徒とその保護者
- 内容：震度体験、応急手当、災害時の栄養と食事、避難所体験、防災ワークショップ他

種差少年自然の家

種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、子どもの祭典）

〔事業目的及び概要〕

小・中学生が家族や仲間とのふれあいを深めながら、心豊かでたくましい子どもに育てることを目的として、自然体験活動や野外でのキャンプ活動、創作活動等さまざまな活動を体験する機会を提供する事業である。

〔事業内容〕

(1) 自然と遊ぼう

| 活動名 | 期 日 | 対象 | 募集定員 | 内 容 |
|--|-------------------|---------------------|------|---|
| たねさしワールド 「春のハイキング」 | 5/15(日) | 小・中学生とその保護者 | 100名 | 春の自然を楽しもう ・種差海岸ハイキング等 |
| たねさしワールド 「エンジョイ！ 海遊び」①② ※2回開催 | 7/2(土) | | 100名 | 海で思いっきり遊ぼう いかだ、カヌー、サンドクラフト、磯遊び等 |
| | 7/3(日) | | 100名 | |
| たねさしワールド 「秋を感じて」 | 10/16(日) | | 100名 | 秋の自然を楽しもう 自然に親しむゲーム、創作活動等 |
| たねさしワールド 「つくって新発見」 | 12/4(日) | | 100名 | つくって楽しもう しめ飾り・門松づくり |
| たねさしワールド 「エンジョイ！ 雪遊び」①② ※2回開催 | 1/28(土) | 4歳以上の幼保・小・中学生とその保護者 | 100名 | 雪で思いっきり遊ぼう スノーチューブすべり、そり遊び、スノークラフト等 |
| | 1/29(日) | | 100名 | |
| たねさしワールド 「こども大作戦」 ①② ※2回開催 | 2/11(土) ～12(日) | 小3年 ～4年 | 40名 | 子どもだけで泊まって楽しもう 仲間づくり、レクリエーション、夜の森探検等 |
| | 2/18(土) ～19(日) | 小1年 ～2年 | | |

(2) 子どもの祭典

| 事業名 | 期 日 | 対象 | 募集定員 | 内 容 |
|-----------------------|--------------------|-----------|------|--|
| おいでよ！ サマーキャンプ | 7/28(木) ～31(日) | 小5 ～中3 | 30名 | ・テントでの宿泊体験 ・野外炊事 ・ナイトハイク ・海での活動 等 |
| わくわくどきどき ウィンターキャンプ | 12/25(日) ～27(火) | 小5 ～中3 | 20名 | ・冬の野外テントでの宿泊体験 ・冬の自然体験 ・森での活動等 |

自然体験活動支援事業

〔事業目的及び概要〕

学校や身近な野外活動場所子どもたちに自然体験活動の場を提供することを目的として、種差少年自然の家職員が現地に出向いて自然体験活動の実地支援を行う。また、自然体験活動の指導者の資質向上を図ることを目的として、小中学校及び関係機関等の指導職員を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

| 事業名 | 期 日 | 対 象 | 募集 定員 | 内 容 |
|----------------|------------------|---|----------|--|
| 自然体験活動 出前講座 | 4・5月及び 10月～3月 | 三八、上北管内の 小・中学校、児童館、 公民館、青少年団体 や成人団体等 ※15名以上の団体 | | ・種差少年自然の家のプログラムの中 で出前対応可能なもの (せんべい焼き、どんぐりアート、動 物マグネット、ぐにゃぐにゃ凧等) |
| 自然体験活動 研修会 | 6/4(土) ～5(日) | 幼・小・中学校教員、 高校・大学生、児童 館など関係機関の 指導者、その他自然 体験活動に興味の ある方 | 50名 | ・アドベンチャーゲームや野外活動 ・野外炊事や創作活動等のプログラ ムの実習 ・自然体験活動にかかわる実習 ・危機管理対応訓練等 |

[在学少年宿泊指導者研修]

[事業目的及び概要]

種差少年自然の家を利用する小・中学校の引率教員を対象に、宿泊学習や野外活動等を効果的に行うことを目的として、活動プログラムの内容・指導の仕方や施設・設備の利用の仕方等について研修するとともに、利用する際の日課表を具体的に作成する事業である。

○期日：4/18(月)～19(火)

○対象：平成28年度利用小・中学校及び特別支援学校の引率教員

[事業内容]

○講義：社会教育施設としての自然の家の効果的な利用の仕方

○実習：活動プログラムの実習（野外、自然、創作活動、夜の活動）、施設等の利用方法

○演習：活動計画の立案、プログラムの相談、事前打合せ、確認

[親子で学ぶ防災キャンプ事業]

[事業目的及び概要]

避けることのできない自然災害に遭遇したとき、災害時における実践的な対応能力を育むことを目的として、小・中学生の家族を対象に行う研修事業である。

[事業内容]

| 事業名 | 期 日 | 対 象 | 募集 定員 | 内 容 |
|---------------|-------------------|-----------------|------------|--|
| 親子の絆 ～防災編～ | 9/24(土) ～25(日) | 小・中学生と その保護者 | 24組 80名 | ・いざという時の役立つ技術の実習 ・プレーホールでの避難所体験泊 ・停電時の炊事 等 |

(2) 活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者の育成
- イ 地域活動の指導者、コーディネーターの養成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援

生涯学習課

市町村の社会教育活性化支援事業 1,320 千円

【事業目的及び概要】

市町村の社会教育主事等の力量形成とその専門性を生かした社会教育の活性化を目的として、生涯学習課と教育事務所が連携し、地域課題の検討会や研修会を開催する事業である。

【事業内容】

- (1) 市町村地域課題検討会
生涯学習課や教育事務所の職員が各市町村に出向き、市町村それぞれの課題に応じ、課題解決に向けた方策や手法を検討する。12市町村程度で最大5回開催する。また、必要に応じ県内の有識者を派遣する。
- (2) 地域人財ネットワーク形成ワークショップ
市町村域を越えた地域づくり人財の顔の見えるネットワークを形成するとともに、地域課題解決に向けた連携の促進を図るためのワークショップを各地区で2回行う。
- (3) 市町村社会教育主事等専門研修
市町村の社会教育主事及び社会教育関係職員に必要な資質・能力の向上を図る実践的な研修を行う。

総合社会教育センター

パワフルAOMORI！創造塾 1,477 千円

【事業目的及び概要】

新たな地域づくり活動者の発掘と育成、仲間づくりの促進やネットワーク（つながり）の形成・強化、地域活動の活性化を図り、地域コミュニティを牽引する人財を育成する事業である。

【事業内容】

- (1) 期日
 - 第1回 8/20(土)～8/21(日)
 - 第2回 9/17(土)～9/18(日)
 - 第3回 11/19(土)～11/20(日)
 - 第4回 12/3(土)
- (2) 会場
 - 第1～3回 青森公立大学国際交流ハウス(各回1泊2日)
 - 第4回 県総合社会教育センター
- (3) 対象者
 - ・地域活動の実践者、指導者、コーディネーター
 - ・大学、企業、NPO、市町村職員等の地域活動に関わる関係者
 - ・地域を元気にしたいという想いのある者
 - ・地域活動を実際に企画運営してみたい者
 - ※原則全回出席できる者
- (4) 募集人数 20名程度
- (5) 受講料
無料(但し、交通費や宿泊費等は自己負担とする。)
- (6) 内容
 - ・講師による講義のほか、グループによるディスカッション
 - ・地域活動を企画運営する「実践活動」

公民館パワーアップ講座**【事業目的及び概要】**

地域コミュニティの拠点としての公民館機能を活性化するため、公民館の運営に必要な基礎的かつ実践的な知識及び技術等についての研修を行うとともに、公民館関係職員相互の連携を図る事業である。

【事業内容】

- (1) 対象 公民館・市民センター職員、教育委員会職員、社会教育委員等
- (2) 開催時期 平成28年5月～平成29年2月 年4回
- (3) 開催場所 県総合社会教育センター
- (4) 人数 30名程度
- (5) 講座内容
 - ア 講義「公民館運営の現状とこれから～学校支援の在り方を探る～」
 - イ パネルトーク「わたしの公民館運営のポイント」
 - ウ 事例発表「地域コミュニティの活性化に向けた公民館事業」等

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 748千円**【事業目的及び概要】**

生涯学習・社会教育関係職員、関係団体職員等の資質向上を目的として、地域課題の把握や具体的な解決方法を探るための理論学習、協働を活かした先進的取組事例の分析等の研修及び基礎的な研修を行う事業である。

【事業内容】

- (1) 初任者研修
 - 開催期日：5/19(木)
 - 開催回数：1回(県総合社会教育センター)
 - 対象：市町村教育委員会・関係団体等初任者
 - 内容：社会教育行政の業務遂行に係る基礎的な知識・技能の習得
- (2) 中堅職員研修
 - 開催時期：6月～12月
 - 開催回数：5回(県総合社会教育センター 30名×5回)
 - 対象：市町村教育委員会・関係団体等
 - 内容：第1回 これからの社会教育の動向と生涯学習・社会教育関係職員の果たす役割
第2回 誰もが目を引くチラシ作成のテクニック
第3回 住民主体のまちづくり～地域の魅力を発見するために～
第4回 若者を地域活動に呼び入れる方法～若者活動支援や人づくり～
第5回 地域子育て支援の役割と課題
- (3) 地区研修
 - 開催時期：5月～9月
 - 開催回数：6回(1回×6地区 教育事務所単位)
 - 対象：市町村教育委員会・関係団体等
 - 内容：県内6地区の課題把握と実践的な知識・技能の習得と人材育成
 - 東青地区 住民をその気にさせるまちおこし
 - 西北地区 ネットワークを生かした地域の活性化について
 - 中南地区 学びを動機づけ社会参加を促すための人材育成の方策について
 - 上北地区 既存施設の活用と住民ネットワークを生かした地域の活性化について
 - 下北地区 家庭の教育力の向上・地域コミュニティの活性化
 - 三八地区 事業や活動を推進するコーディネーターの育成と活用について

(3) 一人一人の主体的な学習と社会参加の推進

- ア 関係機関との連携による多様な学習活動の支援
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

生涯学習課

アクティブシニアによる地域の未来応援事業 5,233 千円

[事業目的及び概要]

人口減少下における地域コミュニティの持続と活性化のため、社会参加活動に積極的に取り組むシニア世代及びその前段階にあるプレシニア世代を「アクティブシニア」と称し、アクティブシニアの持つ、知識、技術、経験を学校支援、家庭教育支援、子どもの地域活動支援等に生かすモデル事業を実施するとともに、アクティブシニアの掘り起こしを図るフォーラムや講座などに取り組む事業である。

[事業内容]

(1) 地域の未来応援実践モデルの構築

次代の地域の担い手を育てるため、シニア及びプレシニア世代の持つ知識、技術、経験を、学校支援、家庭教育支援、子どもの地域活動支援などに生かすモデルを構築する。このため、県内の活動団体や実行委員会に委託してモデル事業を実施する。

ア 事業実施計画公募期間 4月中旬～5月末

イ 事業の実施期間 7/1(金)～11/30(水)

(2) シニアのファシリテーション能力の向上

シニア及びプレシニア世代の社会参加活動をリードする新たな人材の掘り起こしを行うとともに、リーダー、コーディネーター及び実践者として必要となる、学びや活動を促す力・調整能力・合意形成を引き出す力を高めるための講座を実施する。

※ファシリテーション能力：学びや活動を促進する力、調整能力、合意形成を引き出す能力

ア ファシリテーター養成講座の開催 7/16(土) 県総合社会教育センターで開催

(3) 市町村と活動団体のネットワークの形成

市町村教育委員会担当者がアクティブシニアによる活動団体を支援し、未来につながる地域づくりを推進する仕組みをつくとともに、県及び市町村相互のネットワークを構築する。また、県内外の先進地活動団体との交流会を開催し、活動者の意欲の向上を図る。

ア アクティブシニア応援担当者会議の開催

①第1回 10月下旬 3か所(青森市、弘前市、八戸市)で実施

②第2回 1/28(土) 県総合社会教育センターで実施

イ 先進地活動団体との交流会の開催

①第1回 9/10(土) 会場：十和田市 募集定員 40名

②第2回 11/5(土) 会場：岩手県盛岡市 募集定員 60名

(4) 社会参加活動の拡大と普及・啓発

社会参加活動の意義やアクティブシニアの知識、技術、経験を地域活動に生かすことの重要性を伝え、シニア及びプレシニア世代の意識啓発を図る。

ア 地域の未来応援フォーラムの開催 1/28(土) 会場：県総合社会教育センター

○内容：大学教授による講演、モデル事業実践団体による発表など

イ 活動事例集の作成及び配付

県立学校開放事業 577 千円

[事業目的及び概要]

県民の生涯学習推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校（特別支援学校）の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

[事業内容]

特別支援学校の有する専門性を生かし、公益性の高い公開講座を開設する。

実施予定校数：6校

対 象：一般県民（小中高生を含む）

総合社会教育センター

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 902千円

〔事業目的及び概要〕

いつでも、どこでも手軽に学べるインターネットによる講座「eラーニング」について各種学習教材の管理を行うとともに、これら教材の配信に係るサーバー機器等を維持管理する。

〔事業内容〕

インターネットによる学習教材の配信(eラーニング)

- (1) 元気青森人 PowerUp コンテンツ
- (2) あおもり学インターネット講座
- (3) あおもり子育てネット

学習情報の収集・提供事業 7,860千円

〔事業目的及び概要〕

県民の生涯学習活動を促進するために必要とされる各種情報の収集及び提供を行うとともに、サーバ・パソコン機器等を維持管理する。

〔事業内容〕

- (1) 学習情報の収集・提供
 - 4 情報(学習機会、指導者人材、団体・サークル、視聴覚教材)の収集・提供を行う。
- (2) サーバ・パソコン機器等維持管理

青森県学習情報提供システム用サーバ・パソコン機器等を維持管理する。

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 693千円

〔事業目的及び概要〕

16mm フィルムをはじめとする県内の貴重な映像資料を収集・保管するとともにその活用を図り、県内の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的として、「青森県視聴覚ライブラリー」を運営する。

〔事業内容〕

- (1) 生涯学習社会の充実を図る基礎資料を得るための調査・研究
- (2) 社会教育及び県民の学習活動のための研修施設・視聴覚機材の提供
- (3) 教育メディア利用セミナーの開催
- (4) 青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会への加入
- (5) 視聴覚教材の購入

あおもり県民カレッジの運営

〔事業目的及び概要〕

県民の学習ニーズが多様化・高度化する中、興味・関心の高いテーマについて体系的・継続的に学習し、その学習成果が社会から適切に評価され、学習成果を生かして社会参加できることを目的として、県民の生涯学習を総合的に支援する。

〔事業内容〕

- (1) 運営全般
 - ア カレッジ学生への対応

学生募集、学生証の交付、単位認定
 - イ 連携機関への対応

登録受付、連携機関連絡会議の開催、タイアップによる講座・イベント開催
- (2) 普及啓発
 - ア 生涯学習フェアの開催
 - イ 普及啓発情報収集

連携機関等への取材、社会参加に関する情報の収集
 - ウ 生涯学習HPの作成
- (3) 学習情報提供・学習相談
 - ア 学習相談
 - イ 学習情報提供

- 学習機会情報・活動機会情報の収集及び提供
- ウ 情報紙「てのひら」作成
- (4) 学習機会提供
 - ア 地域キャンパス講座開催
県内6地区にて開催
 - イ ボランティア自主講座の開催（社会参加活動支援）
 - ウ 専門講座開催
- (5) 評価サービス
 - ア 県民カレッジ学生への評価サービス

インフォメーションプラザありすの運営

【事業目的及び概要】

インフォメーションプラザありす(学習情報サービス室)は、生涯学習に関する総合窓口であり、各種の相談対応のほか、視聴覚教材の貸出サービス、図書資料等の閲覧サービス等の業務を行う。

【事業内容】

- (1) 窓口対応
- (2) 社会参加活動の事例紹介とマッチング
- (3) 社会参加活動支援センターの運営
- (4) 視聴覚教材貸出サービス
- (5) ポスター、チラシ、図書資料等の展示

チャレンジ先生の手作り講座

【事業目的及び概要】

誰もが「講師」に挑戦できる仕組みを構築することで県民の社会参加活動を推進するとともに、受講生と講師の「学び合いの場」を作ることによって、多様で質の高い学習機会を創出する。運営については市場原理を導入して活性化を図る。

【事業内容】

- (1) 講師について
 - ・講師は公募し、面談後決定
 - ・講師の資質向上のための研修会の実施
- (2) 講座について
 - ・講座における実施回数、募集定員、受講料について複数のレベルを設定し、講師が選択してチャレンジする。
 - ・講座の開催は、7・8月期、11・12月期、1・2月期の3期とする。
 - ・最少開講人数を設定し、一定の基準を満たす応募があった場合に開講する。
 - ・受講料を徴収し、これによって運営費を賄うこととする。

ボランティア活動支援機関連絡会議

【事業目的及び概要】

ボランティア活動を支援する機関のネットワークの構築・強化を図ることを目的とし、情報共有・情報交換を行う会議を開催する事業である。

【事業内容】

- (1) 開催時期 4月～5月
- (2) 開催場所 県内6地区
- (3) 会議内容 各機関の活動状況等について

県立図書館**近代文学館 特別展開催 2,073 千円****〔事業目的及び概要〕**

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、特定のテーマに添った特別展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 名称：特別展「青函を旅した文人たち」
- (2) 会期：7/9(土)～9/22(木)
- (3) 内容：展示、文学講座、パネル展を実施する。
 - 展 示 島崎藤村は明治 37 (1904) 年 7 月、「破戒」出版の相談で義父を訪ねるため、青森から函館へと渡った。同年 9 月、石川啄木は野辺地に伯父を訪ねた後、青森から連絡船・陸奥丸に乗った。『三千里』の著者・河東碧梧桐は、明治 40 年に青森と北海道を往来している。宮沢賢治は大正 12 (1923) 年夏、青函連絡船に乗り、樺太旅行へと出発。この旅で「青森挽歌」をはじめとする作品群を生み出した。大正 14 年に青森県内を巡遊した与謝野鉄幹・晶子夫妻は、昭和 6 (1931) 年には函館へ旅行。石川啄木の墓参を果たし、今日、立待岬には夫妻の歌碑が置かれている。青森と函館、両地を旅した文人たちの足跡を貴重な資料とともに紹介する。
 - 文学講座 関係者・研究者等を招き、文学講座を開催する。第 1 回は、県外から著名な講師を招いての基調講演やシンポジウム等とし、第 2 回は、県内文学研究者等による講座を行う。
 - パネル展 若い世代や遠隔地の県民へのサービスとして、特別展終了後に展示内容を再構成したパネルを作成し、学校・公共施設等で巡回展を開催する。

近代文学館 企画展開催 763 千円**〔事業目的及び概要〕**

青森県の近代文学に関する理解を深めることを目的として、近代文学館が収蔵している資料を展示・公開する企画展を開催する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 「三上強二寄贈資料展」
 - 会期：4/29 (金)～5/25(水)
 - 内容：平成 27 年 1 月に急逝した三上強二氏 (1928～2015 青森市出身) は、戦後、青森県立図書館に約 30 年勤務し、県内外の数多くの文化人と交流。青森県文化の語り部として広く知られ、日本図書館協会顧問や青森ペンクラブ会長を務めた人物である。青森県立郷土館を定年退職した平成元年から翌年にかけては「東奥日報」紙に随想「訪廬庵雑記」を連載した。三上氏から生前寄贈された広範な文学資料を展示するとともに、その文学者たちとの多彩な交流や青森県の文化の継承と発展に寄与した足跡を紹介する。
- (2) 「青森県俳句懇話会寄贈資料展」
 - 会期：2/25 (土)～5/24(水)
 - 内容：青森県俳句懇話会寄贈の色紙、短冊、自筆原稿、遺品等 600 点余りのうち、選りすぐりの品を展示。増田手古奈、高松玉麗、成田千空ら県出身俳人のほか、正岡子規、高浜虚子、大野林火ら中央で活躍した著名俳人の自筆資料も多数含まれている。

アウトリーチサービス推進事業 221 千円**事業目的及び概要〕**

来館による図書館利用が困難な重度心身障害者や要介護高齢者等に対して、宅配便による図書の搬送を行い、来館しなくても図書館資料を利用できる環境を提供する事業である。

〔事業内容〕

利用登録者から、電話・郵便・FAX・電子メールにより希望図書の申込みを受け、貸出・返却については宅配便を利用して搬送する。(4/1(金)～3/31(金))

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

生涯学習課

生涯学習推進基盤整備事業(生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会) 839 千円

[事業目的及び概要]

生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備するため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

[事業内容]

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

ア 第12期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(H26/8/21～H28/8/20)

○審議テーマ「ふるさとの良さ、あおもりの魅力を次代に伝えるための、学びと地域のつながりづくりの在り方について」に基づき審議した成果を報告書にまとめる。

○会議等の予定：第5回(6月)、教育長報告(8月)

イ 第13期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年(H28/8/21～H30/8/20)

○方針：県及び県教育委員会が実施する生涯学習・社会教育関連事業について調査し、生涯学習課が今後取り組むべき事業について審議する。

○会議等の予定：第1回(9月)、第2回(3月)

生涯学習・社会教育総合調査研究事業 1,143 千円

[事業目的及び概要]

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

[事業内容]

一般県民、社会教育団体・機関等を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

○調査テーマ：(仮)「生涯学習・社会教育に関する県民の意識調査」

○調査対象：一般県民3,000人

○顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。

○報告書：100部を印刷し関係機関に配付するほか、ホームページでも公開する。

青森県社会教育委員の運営 698 千円

[事業目的及び概要]

本県の社会教育推進体制の充実を図ることを目的として、社会教育法第17条に基づき青森県社会教育委員を設置し、本県社会教育の現状と振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行うことを目的として会議を運営する事業である。

[事業内容]

(1) 第32期青森県社会教育委員

- 委員：12名（うち、専門部会委員5名）
- 任期：2年（H26/10/19～H28/10/18）
- 第32期青森県社会教育委員の会議における調査研究テーマ
「学びとつながりを生み出す家庭教育支援の在り方」

○会議の概要

- 第3回専門部会 5/10(火)：調査結果の精査等
- 第4回全体会 6月上旬：調査結果の精査等
- 第4回専門部会 7月上旬：調査研究報告書（案）
- 第5回全体会 8月下旬：調査結果報告書（案）
- 調査研究報告書提出 10月上旬：議長・副議長から県教育長へ提出

(2) 第33期青森県社会教育委員

- 委員：12名（うち、専門部会委員5名の予定）
- 任期：2年（H28/10/19～H30/10/18）
- 第33期青森県社会教育委員の会議における調査研究テーマ
「未定」※12月上旬の第1回全体会で決定

○会議等の概要

- 第1回全体会 12月上旬：議長・副議長選出、調査研究テーマについて
- 第2回全体会 2月上旬：調査研究テーマへのアプローチについて

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県社会教育行政」の作成 262千円

〔事業目的及び概要〕

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔事業内容〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「平成28年度青森県社会教育行政」の作成配付（600部作成予定）

社会教育主事有資格者育成派遣事業 725千円

〔事業目的及び概要〕

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

〔事業内容〕

派遣研修 社会教育主事講習（秋田大学） 研修期間 7/（ ）～8/（ ）（7/ ～7/ は宿泊研修）

社会教育主事派遣事業 8,196千円

〔事業目的及び概要〕

町村等の社会教育行政及び社会教育指導体制の充実を図ることを目的として、社会教育主事の資格を有する学校職員を町村等教育委員会に派遣する事業である。

〔事業内容〕

派遣先 上北地方教育・福祉事務組合 派遣者数 1名

生涯学習専門講座派遣事業 182千円

〔事業目的及び概要〕

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

〔事業内容〕

派遣先 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター
講座名 社会教育主事専門講座、地域教育力を高めるボランティアセミナー
派遣人数 各1名

市町村の社会教育活性化支援事業（再掲） 1,320千円

(P21 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

社会教育主事等一般研修 154千円

〔事業目的及び概要〕

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修と情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

〔事業内容〕

研修会の開催 年2回（予定）

在学青少年育成費補助事業 359千円

〔事業目的及び概要〕

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年(高校生)を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔事業内容〕

東京青森県人会及び青森県高等学校長協会が実施する高校生を対象とする講演会事業に助成する。

○内容：東京及びその近郊に在住する青森県出身者ならびに青森県にゆかりのある方々を講師に、高校生を対象とした講演会を開催する。

○実施場所：県内高等学校 6校

（青森西高等学校、鶴田高等学校、十和田西高等学校、青森明の星高等学校、八戸工業大学第一高等学校、八戸学院光星高等学校）

青森県連合青年団活動費補助事業 600千円

〔事業目的及び概要〕

県内の青年による活動の振興を図るために、青森県連合青年団が行う事業に対し助成を行う事業である。

〔事業内容〕

青森県連合青年団が実施する下記の事業に助成する。

| 補助対象事業名 | 期日 | 開催場所 | 参加人数 |
|-----------------------------|-----------|-----------|------|
| 第65回青森県青年大会 (主催事業) | 8月中旬～9月中旬 | 東青地区 | 50名 |
| 第65回全国青年大会 (主催：日本青年団協議会) | 11月中旬 | 東京都：東京体育館 | 40名 |
| 第62回青森県青年問題研究集会 (主催事業) | 2月中旬 | 青森市 | 20名 |

総合社会教育センター**ボランティア関係職員ネットワーク形成セミナー 189千円**

〔事業目的及び概要〕

ボランティア関係職員の専門性と資質の向上及びネットワークの構築を目的としたセミナーを開催し、本県の社会参加活動の推進及び充実をめざす事業である。

〔事業内容〕

○開催期日：10/19(水)、10/21(金)、10/24(月)

○開催回数：3地区各1回（青森市：県総合社会教育センター、八戸市、弘前市）

○対象：市町村教育委員会及び首長部局担当者、市町村社会福祉協議会等(市町村ボランティアセンター担当者、市町村ボランティア連絡協議会)

○内容：講義と情報交換を行い、参加者の専門性と資質の向上を図るとともにネットワークを構築する。

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲) 748 千円

(P22 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

公民館パワーアップ講座(再掲)

(P22 (2)活力ある地域コミュニティの形成に向けた人財の育成に掲載)

県立図書館**県立図書館資料整備 61,307 千円****[事業目的及び概要]**

県民の生涯学習の拠点として、充実した図書館サービスを提供することを目的として、利用者の幅広い学習のための資料や情報などの整備を図る事業である。

[事業内容]

図書、定期刊行物、視聴覚資料等の整備

図書館 56,811 千円

近代文学館 4,496 千円

市町村立図書館等職員研修事業 69 千円**[事業目的及び概要]**

市町村立図書館等の運営上の課題解決、情報交換及び職員の資質向上を図ることを目的として、初任者研修及び実務研修を実施するとともに、相互協力事業を円滑に行うために青森県立図書館事業等担当者会議を開催する事業である。

[事業内容]

- (1) 県立図書館事業等担当者会議 年1回 5/11(水)
- (2) 初任者研修 年3回 5/25(水)・6/8(水)・6/23(木)
- (3) 実務研修 年1回 11/16(水)